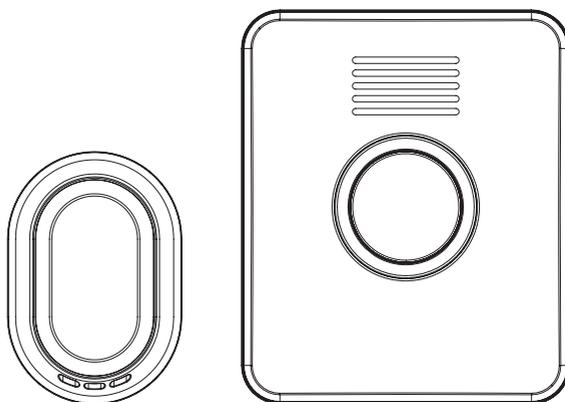


おたすけ アラート&チャイム DWC10RT

配線不要

取扱説明書

ご購入頂いた時点では
コールボタンは登録されて
おりません。



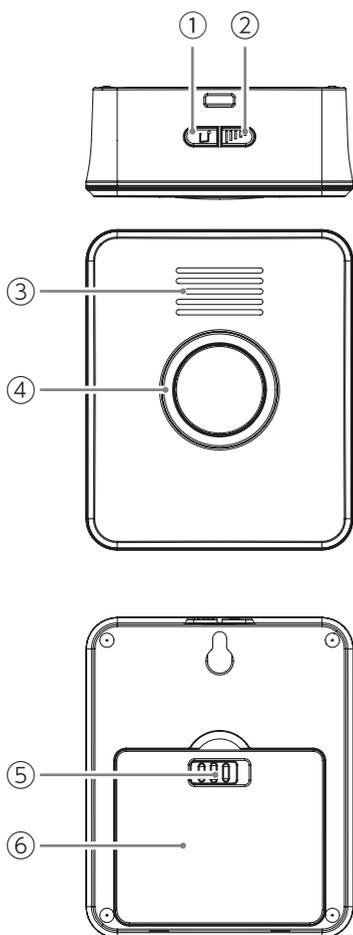
本書に記載している画面および仕様は、
予告なく変更されることがあります。

目次

各部の名称	3
使用方法	4
コール受信機に電池を入れる	4
コールボタンに電池を入れる	5
電池交換について	6
電波について	6
電波到達距離について	6
コール受信器の取り付け	6
コールボタンの取り付け	7
コールボタンの登録のしかた (呼出音の設定)	8
音量調整のしかた	8
コールボタンの登録解除のしかた	8
呼出音を途中で停止させたい時	8
故障と判断する前に	9
仕様	10
外形寸法図	11

各部の名称

コール受信機

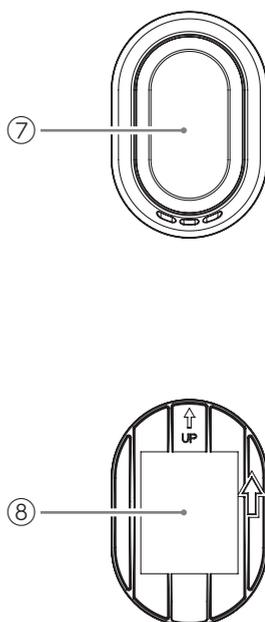


- ① 選曲ボタン
- ② 音量ボタン
- ③ スピーカー
- ④ 呼び出し LED

●付属品

コールボタン取付用両面テープ 1枚

コールボタン

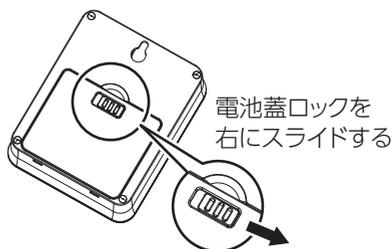


- ⑤ 電池蓋ロック
- ⑥ 電池蓋
- ⑦ コールボタン
- ⑧ 取付プレート

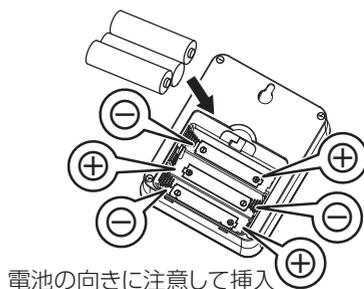
使用方法

コール受信機に電池を入れる

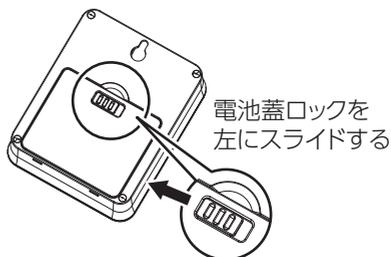
- 1** コール受信機の電池蓋ロックを右にスライドして電池蓋を外します。



- 2** 市販の単3形アルカリ乾電池を電池ボックス内の刻印の向きに合わせて挿入します。



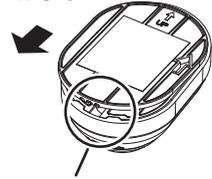
- 3** 電池ボックス下部の穴に電池蓋の凸部を斜めに差し込み閉めてから、電池蓋ロックを左にスライドさせます。



コールボタンに電池を入れる

- 1** コールボタン下側の隙間にマイナスドライバー等を差し込み、取付プレートを下にスライドさせながら外します。

下にスライドさせて
はずす



マイナスドライバー等
を差し込む

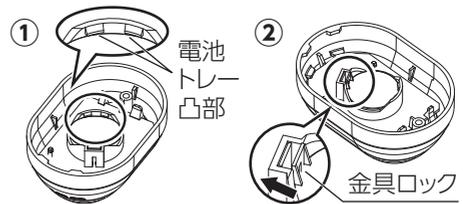
- 2** ボタンカバーのねじを外し、ねじ穴の上部にある凹部にマイナスドライバー等を差し込んで持ち上げるように外します。



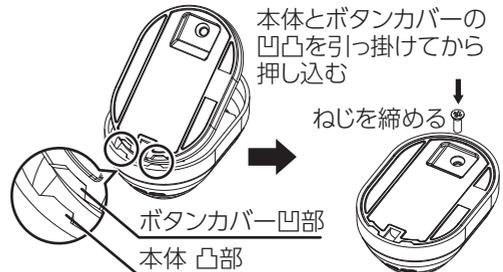
マイナスドライバー等
を差し込む

- 3** 市販のコイン形リチウム電池 CR2032 の⊕極 (印字面) を上にして、電池トレーの凸部に引っ掛けてから押し込み、装着してください。(図①)

※電池を外すときは、爪で金具ロックを外してください。(図②)



- 4** ボタンカバーの凹部を本体下側の凸部に引っ掛けてから押し込み、ねじで締め付けます。



本体とボタンカバーの
凹凸を引っ掛けてから
押し込む

ねじを締める

ボタンカバー凹部
本体 凸部

電池交換について

電池寿命の目安での定期的な電池交換をお勧めします。

また、コール受信機は電池が減り電池交換が必要になると、待機時に呼び出しLEDが5秒に1回の間隔で点滅するようになります。

LEDが点滅している場合はすぐに電池を交換してください。

電池寿命の目安	コール受信機	コールボタン
	8ヶ月	2年

※交換する電池は、全て新品をご使用ください。

電波について

本製品のコールボタンは電波法に基づく工事設計認証を受けた315MHz帯無線設備です。

・本製品を分解・改造することは電波法で禁止されています。

また、本製品に貼り付けてある認証ラベルを剥がしたり、改ざんなどはしないでください。

・他の無線局との間で有害な電波干渉が発生した場合は、速やかに本製品の使用場所を変更するか、使用を停止してください。

電波到達距離について

木造、鉄骨、鉄筋コンクリートの各構造での目安は、次のとおりです。設置する建物の構造によって電波到達距離が変わります。

木造 約15～30m	鉄骨 約10～20m	鉄筋コンクリート 約5～10m
---------------	---------------	--------------------

 設置環境によって電波到達距離が極端に短くなる場合があります。

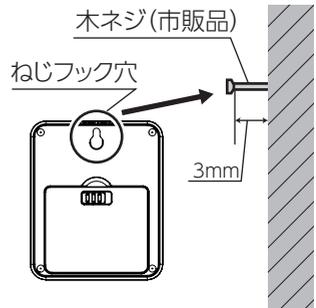
コール受信機の取り付け

●壁や柱に掛ける

1 市販の木ネジを壁や柱から3mm程度ねじ頭が浮くようにねじ込みます。

2 コール受信機の裏側上部のねじフック穴に引っ掛けます。

※推奨：丸木ねじ 呼び径φ3.1×長さ15mm



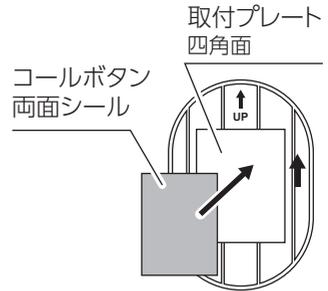
 石膏ボードに設置する場合は、必ず内側に梁がある箇所にネジが掛かるように設置してください。

コールボタンの取り付け

●両面テープで固定

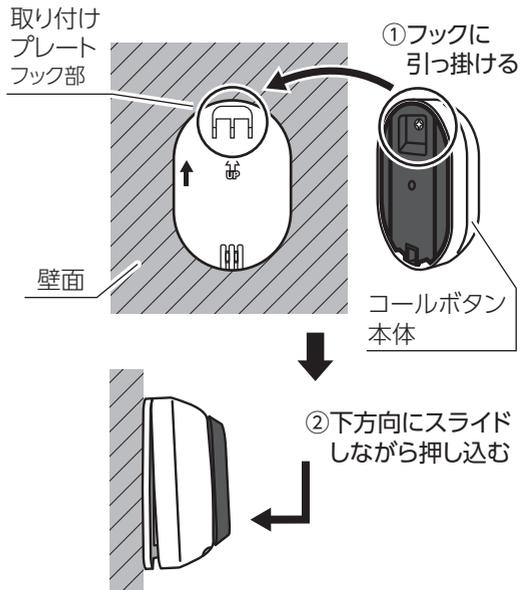
1 取付プレートをコールボタンから取り外し、付属の両面テープを取付プレートの四角面に貼り付けてから、壁や柱などに貼り付けて固定してください。

両面テープの粘着性を安定させるため、壁や柱などにしっかりと押し付けて貼り付けてください。



- コールボタン本体に取付プレートを付けたまま固定すると、コールボタンが破損する恐れがあります。
- 平らな面に取り付けてください。
- 取付場所の埃・汚れ・保護つや出し剤などを中性洗剤でよく拭き取り、洗剤成分が残らないように水拭きして完全に乾かしてから貼り付けてください。
- 貼り付ける場所によっては、壁のクロスや柱などの素材を痛める恐れがありますので、貼り付けには十分にご注意ください。
- 貼りなおしは、テープが損傷したり粘着力が低下したりする場合があります。

2 コールボタン本体を取付プレートのフックに引っ掛けて下方方向にスライドさせながら押し込み固定してください。

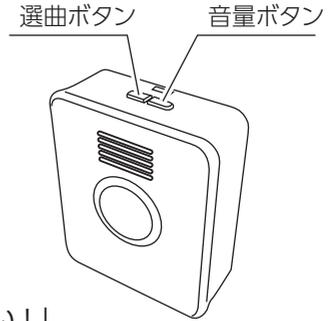


コールボタンの登録のしかた (呼出音の設定)

- 1** コール受信機の選曲ボタン () を押すたびに呼出音が切り換わりながら鳴りますので選択したい呼出音が鳴るまで押してください。

•呼出音は5種類です。

- ①「ピンポン♪」
- ②「ティロリーン♪ティロリーン♪」
- ③「ウィーヨン♪ウィーヨン♪」
- ④「ウィーヨン♪ウィーヨン♪緊急事態発生！」
- ⑤「ウィーヨン♪ウィーヨン♪助けを呼んでください！」



- 2** コール受信機の音量ボタン () を「ピッピッ」と音が鳴りLEDが点灯するまで長押ししてください。

約3秒長押しします。

- 3** コールボタンを1回押します。

コールボタンを押して、コール受信機から呼出音が鳴ったら登録完了です。

 呼出音を変更する場合は手順1～3の順で登録し直してください。

音量調整のしかた

コール受信機の音量ボタン () を押すたびに呼出音の音量が上がります。音量は4段階で最大音量のあとは最小音量に戻ります。

コールボタンの登録解除のしかた

- 1** コール受信機の音量ボタン () を「ピッピッ、ピッピッ」と音が鳴りLEDが点滅するまで長押しすると登録が解除されます。

約10秒長押しします。

約3秒後に1度「ピッピッ」と音が鳴りLEDが点灯しますが、音量ボタンは押し続けてください。

呼出音を途中で停止させたい時

■コール受信機

選曲ボタン () を約3秒長押しすると呼出音が停止します。

故障と判断する前に

故障と判断する前に、次の点を確認してください。

症状	確認内容	対処方法
動作しない	電池が入っていますか？	電池を入れてください。 (コール受信機) ➡ 4 ページ (コールボタン) ➡ 5 ページ
	電池の⊕、⊖を間違えていませんか？	電池を正しい方向で入れなおしてください。 (コール受信機) ➡ 4 ページ (コールボタン) ➡ 5 ページ
呼出音が小さい	音量が小さく設定されていませんか？	音量を大きくしてください。 ➡ 8 ページ
	コール受信機のLEDが待機時に5秒間隔で点滅していませんか？	コール受信機の電池残量が少なくなっています。3本とも新しい電池に交換してください。 ➡ 6 ページ
呼出音が鳴らない	コール受信機にコールボタンが登録されていますか？	コールボタンを登録してから使用してください。 ➡ 8 ページ
	コール受信機の音量ボタンまたは選局ボタンを押して呼出音が鳴りますか？	コール受信機の電池残量が少なくなっています。3本とも新しい電池に交換してください。 ➡ 4 ページ
	コールボタンをコール受信機の近くで押すと呼出音が鳴りますか？	設置した場所では電波が届いていない可能性があります。設置場所を変えてみてください。 ➡ 6 ページ コールボタンの電池残量が少なくなっている可能性があります。新しい電池に交換してください。 ➡ 5 ページ
呼出音が変わらない	選曲ボタンで呼出音を切り換えた後にコールボタンを登録し直していますか？	呼出音を切り換えたあとコールボタンを登録し直すことで呼出音を変更できます。 ➡ 8 ページ

仕様

品名	おたすけアラート&チャイム	
	コール受信機	コールボタン
型番	DWC10R	DWC10T
送受信周波数	315MHz 帯 / 特定小電力無線局	
電波到達距離	屋外見通し 70m ^{※1}	
動作電源	単 3 形アルカリ乾電池 × 3 本 (別売)	コイン形リチウム電池 CR2032 × 1 個 (別売)
電池寿命 ^{※2}	8 ヶ月	2 年
呼び出し音	5 種類	-
音量調節	4 段階	-
音量	最大 85dB/50cm	-
使用温度範囲	0℃～ 40℃	-20℃～ 50℃
使用場所	屋内	屋外 (IPX4)・屋内
外形寸法 (高さ×幅×奥行 mm)	92 × 77 × 33	65 × 45 × 28
質量	80g(電池含まず)	30g(電池含まず)

※ 1: 屋内での電波到達距離の目安は、木造：約 15～30m、鉄骨：約 10～20m、鉄筋コンクリート：約 5～10m。

設置環境によって極端に短くなる場合があります。

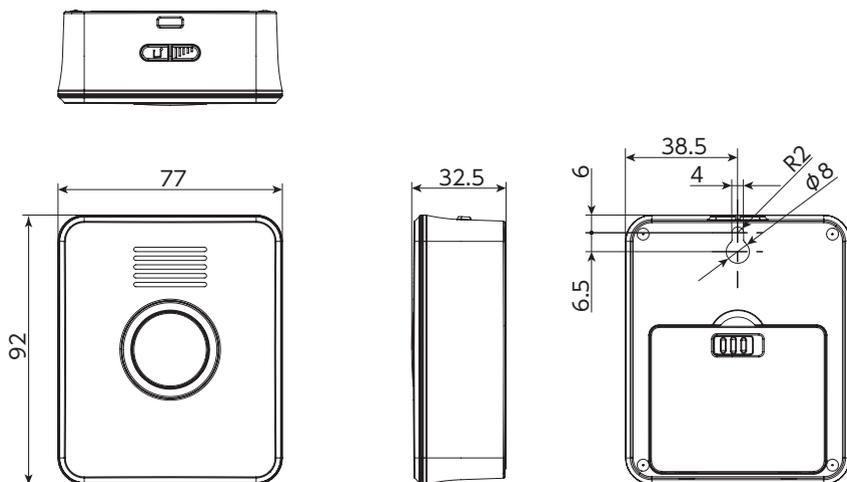
※ 2: 呼出音①② (チャイム)：1 日あたり 5 回呼び出し

呼出音③④⑤ (警報音)：1 日あたり 1 回呼び出し

外形寸法図

■コール受信機/DWC10R

単位：mm



■コールボタン/DWC10T

